

島田農園
お米づくり
食育プロジェクト

～田んぼで交わる、歴史・文化、企業、地域の未来～

farm shimada



島田農園の歴史

初代：島田 常次郎

大正9年、富山県砺波（となみ）から北海道札幌市月寒に移住し月寒の地で開拓や農業を始めました。

2代目：島田 助蔵・3代目：島田 茂

恵庭市漁太に移住し、農民救済と農業経営の長期安定化のため昭和10年に林田に通いながら農作物を作り始めました。昭和24年恵庭市林田に移り住み、水害の多い中、当時は7ヘクタールで3世代の家族が全員手作業で、今の時代にはない馬ですべての田んぼを耕し家族親族一丸となって朝から夜遅くまで働き3代目茂は井戸掘りも覚え、大家族を養いました。また、島田茂は昭和58年から平成6年まで恵庭市議会議員を三期務めました。

- ・2代目 島田助蔵 昭和49年恵庭市功労者受賞
- ・3代目 島田 茂 平成7年恵庭市功労者受賞

4代目：島田 登

昭和54年、大型経営を目指し、島田農園で初めて大型のトラクターを導入し、面積も増え30haに馬鈴薯や大豆、ビート、切り花などの栽培を始めました。

- ・4代目 島田 登 令和2年恵庭市功労者受賞

5代目：島田 龍哉

林田の土地は粘土地で野菜づくり等には適していないと判断し、平成26年にはお米の生産だけに絞って本格的な米農家としてスタートしました。

水田70ha恵庭市の水稻生産面積の一割を生産、平成29年からお米の直接販売も増え恵庭市内60店舗の企業や幼稚園、大学と契約栽培、平成30年には「びっくりドンキー」と低農薬米の契約栽培を結んでいます。

また、平成31年には農業士から指導農業士になり地域農業の振興にも力を入れています。令和2年には株式会社島田農園を設立し、令和3年に100年の歴史を迎えました。

これからも、お米の生産のみならず「食育活動」も継続的に行い、食の大切さや農業の魅力を伝え、自然や命への感謝を育むために、農業の魅力を発信して参ります。



株式会社 島田農園



会 社 名 株式会社 島田農園

設 立 令和元年11月22日

代 表 者 代表取締役 島田龍哉

役 員 3名

従業員数 10名 (パート含む)

所 在 地 〒061-1361 北海道恵庭市林田2番地

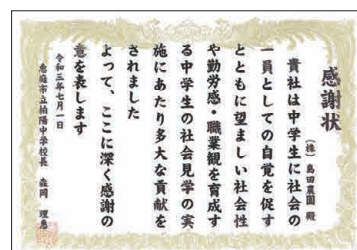
電話番号 0123-36-6333

FAX番号 0123-36-6333

主要業務 お米を中心とした水稻農家
2020年からイチゴの栽培



令和2年12月10日
恵庭市 感謝状



令和3年7月1日
恵庭市立柏陽中学校 感謝状

島田農園
公式ホームページ



<https://shimadanouen.jp>



令和3年9月28日
東京オリンピック競技大会
東京パラリンピック競技大会
感謝状



食育活動をするきっかけ

農業をはじめた当初は漠然と大規模に農業を行いたいと思っていました。その一方で自分たちが生産したお米は誰が食べてくれているんだろう？とも感じていました。

2007年より、市内の小学校でお米の出前授業を行いました。その際に子どもたちから「お米はスーパーで買える」「恵庭のお米は知らない」と言われたことに衝撃を受け、生産者が直接農業を教える機会をつくりだしたいと思いました。

島田農園では、2011年から農業に興味を持つきっかけとして、田植え体験、稲刈り体験をスタートしました。最初は手探りではじめましたが、大人も子どもも、多くの皆様が農業体験を通じて食をより身近に感じ関心を深める食育活動につながっていると実感しています。

「お米の価値を知ってほしい」「お米を食べてくれている人とつながりたい」「未来の農業を守りたい」という思いで食育活動をはじめましたが、一番は子どもたちが楽しそうに農業体験をしている姿を見て私自身が刺激を受けて楽しくやっています。

株式会社 島田農園

代表取締役 島田 龍哉



2013年6月27日 島松小学校での出前授業





食育活動 田植え体験・稲刈り体験

開始時期：2011年より毎年開催

対象：幼稚園・小学校・中学校・高校・大学・企業・団体

2024年実績：700名（22団体）

「お米がどのように作られているか」を実際に体験しながら土に触れ、苗を植えたり稲を刈ったりすることで、自然の恵みや農業の大変さ、食のありがたさを実感していただきます。また、お米の価値が伝わり、食への関心が高まることで、子どもたちが農業に興味を持つきっかけになれば、農業の担い手不足の解消にもつながると考えています。



現代版組踊 チーム絆花

「絆花」は、北海道稲作の父と呼ばれた中山久蔵翁の半生を描いた舞台、当時北海道では不可能と言われていたお米づくりを成し遂げた「中山久蔵翁物語」を上演する劇団です。

チームは2011年に結成され、現在も恵庭市を中心に活動しています。

島田農園の代表である島田龍哉もスタッフとして携わり日頃の練習や舞台公演をサポートしています。

また、チーム絆花のメンバーも、田植え体験や稲刈り体験を毎年行っています。

メンバーは食育を学ぶと共に、中山久蔵が行ってきた米作りの大変さを自らが体験する事で、先人の苦労を舞台上での演技や踊りにも活かしています。



チーム絆花



恵庭市を中心に近隣地域の子ども達が集まり、日々活動を行っています。メンバーは小学3年生から高校3年生。地元への学びを深め、地域を大切に思う子ども達に育ってほしいとの思いで、2011年恵庭青年会議所40周年記念事業としてスタート。これまでに、数多くの子ども達が卒業していております。大人は手を出さず、口を挟まず、子ども達の自主性が育まれる環境づくりに努めています。

中山久蔵

日本の農業指導者。極寒の北海道で稲作をすることは不可能と言われていた明治期に初めて米作り（赤毛種）を成功させた先駆者。

寒地稲作の祖、寒地稲作の父、北海道稲作の父と称される。

絆花公演来場者数

公演日	来場者数	会 場
2017年3月26日	440人	恵庭市民会館大ホール
2018年3月10日	336人	北広島市芸術文化ホール
2019年3月30日	434人	恵庭市民会館大ホール
2020年12月27日	64人	恵庭市民会館中ホール
2022年3月20日	515人	恵庭市民会館大ホール
2023年3月25日	716人	恵庭市民会館大ホール
2024年3月23日	868人	恵庭市民会館大ホール
2024年9月28日	677人	恵庭市民会館大ホール
2025年3月22日	865人	札幌市東1丁目劇場

企業の食育活動

ネットヨタ札幌 食育活動の取り組み COCOROプロジェクト

「みんなの心を少しでも明るくしたい」という想いから行っているプロジェクトです。
2024年島田農園にて実施。お米の講習、田植え、稲刈りを行い収穫したお米はこども食堂へ寄付しました。

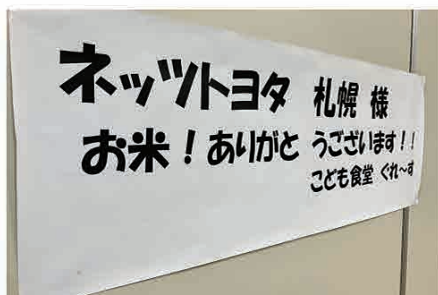
こども食堂を視察させて頂きました。

2025.01.23

2025年1月22日に、こども食堂を視察させて頂きました🍱

昨年12月に寄贈いたしました当社【米米club🍷】で収穫したお米を実際に食べていただいている様子を拝見し、改めて社会貢献の大切さを実感しました🍷

今後もこのような取り組みに力を入れて参ります。



お子さまたちと一緒に食べました。

ネットヨタホームページより



お米の講習



田植え体験



稲刈り体験



田植え体験に参加された方のアンケート

2025年度より

泥投げていっぱい汚れて楽しかった！
ハートの形に植えて楽しかったし、お米を
大事に食べようと思った！

小3 ふきより

普段の生活では体験できないことを経験させ
ていただき、ありがとうございます。何よ
り子どもたちが楽しむ姿がみれてよかったで
す！

ふきの父より



楽しかった！水冷たくて最初はドキドキし
たけど大丈夫だった。苗をちぎるとき、白い根っ
こが固くて丈夫だった。混合戦楽しかった！

小3 みさきより

泥がぬちゃぬちゃだった。アメンボがいた！
混合戦楽しかった！

小1 こうきより

いつもおいしいお米をありがとうございます
す！我が家は玄米を購入し、こどもたちと一
緒に精米しています。どうして白くなるんだろ
うね〜と、いろんな話をしながら精米も楽し
んでいます！

今回は本当に貴重な体験をさせていただき、
ありがとうございました！
泥や虫の心配をしていたこどもたちでしたが、
いざ始めて慣れたら全身で楽しっていました。
みんないい顔でした♪

お米の始まりを知りながらどろどろになっ
て遊べて、純粋に楽しかったです！
私自身小学生の時の田植え体験が楽しかった
ことを、今でも覚えています。こどもたちの
心に残ってくれたらいいなと思っています。
暖かい目で見守ってくださいありがとうございます。
島田さんの優しい表情が忘れ
られません！

秋にどれくらい成長しているか親子共々楽し
みです！
ほんとうにありがとうございます！

みさき・こうきの母より

島田さんへ

今回は貴重な体験をさせていただきありが
うございました！
人生において田んぼに足を踏み入れることは
なかなかないのでとても楽しく不思議な感覚
でした。私はお米が大好きなので美味しいお
米が沢山できることを祈っています♡

高1 ひろより



ひろの母より

お忙しい中、貴重な体験をありがとうございます
です。島田さんの言ってくれた「楽しいこ
と！暑！」という言葉が印象的で、島田さん
の楽しそうな姿も子どもたちの記憶に残ると思
います。今回田植え体験をした子どもたちが、
将来農業に関わらなくても、自分たちの
口に入っているものは島田さんのような方々の
手から届いていることが想像できる人であれ
たら本当に嬉しいです。

そして、きょうはコーヒー屋さんです。
コーヒーもお米と同じ農作物で、田植え体験
を通して感じたことで「お米ってここから
来るんだ」と知れたことが、みんなのお母さ
んたちが普段食べているコーヒーにも繋が
ると嬉しいです。

まひろの父 大地より



人生で初めて田んぼに入りました！！
ずっと田植えをやってみたかったのでうれし
でした！
泥の感触がとっても気持ちよくて、これから
田んぼをみるたびに今日のことを思い出すと
思いますよ家に帰って泥を歩くあの感触が
足に残っていて…あのどろんどろんの中でおい
しい真っ白なお米が育つことがとても神秘的に
感じましたし、お米が育つ過程の大変さや苦
労もしみじみ感じました。
今まで子供たちに、お米を洗ったら農家さん
が洗ひおよ〜と話していましたが、子供た
ちも私も今日の田植え体験で農家さんをより
身近に感じ、お米のありがたさを実感と思い
ます！とっても貴重な体験をさせていただき
ありがとうございます！最高に楽しかった
です！！

かいせい・こうだい・たいきの母より

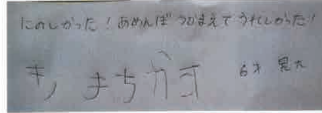


水が冷たかった 楽しかった 苗を植えるの
が楽しかった お米が育てるのが楽しみ

9歳 かいせい

どんくろ投げのが楽しかった

3歳 たいき



田植えの感想です。とにかく楽しかった！思っ
たよりも100倍くらい楽しくて皆でいっぱい
はしゃぐことができました。田植え自体は意
外と簡単で、たださすだけだったけどきれ
いに真っすぐさすことが難しかったです。自分
では真っすぐさすことができていたと思っ
ていたのにとてもまがっててみんな違って
その場面も楽しかったです。それから農園の
方にコップを教えてもらいました。それは一
気に植えるのではなく、3から5本ほど取っ
て植えるというものです。そんな工夫は
知らなかったし、さらに一気に植えると美味
いお米にならないということも知ってさら
に驚きました。次は秋になったら行くとい
うことです。自分のお米が大きくなっていら
ないかなと思います。早くまた行きたいです！

小6 まひろより

改めて、今回は貴重な体験をさせていただ
きありがとうございます！普段の活動は基
本工場の中で、なかなか田んぼに行けるこ
とはなく（笑） あんなにおおはしゃぎのこ
どもたちも久しぶりに見たので、わたしまで
うれしくなりました。
何よりも感動したのは、そんなこどもた
ちの姿をあたかも見守ってくれる島田さん
の姿です。自分の親以外にも、職場の大人や、
島田さんのような地域の大人がこどもたち
と関わってくれる・見守ってくれる。そんな環
境でなかなかない時代だと思ふので、本
当にありがたかったです！今後とも
よろしくお願ひいたします！
※島田さんの良い土地情報があったらぜひ教えて
ください…（笑） 本間明希より



この度は、貴重な体験をさせて頂き本当にあ
りがとうございました。
私も初めての事で、子供もとても心配でし
たが、とっても楽しんでいる所この顔を見
ただけで、今回参加して良かったなと思
いました。
普段、どうしても「だめ！汚さないで！」と
か言ってしまうのですが、それを言わない
でいい環境って、私達親にとっても良い事
のような気がして、なんか素敵だなと思
いました。

子供達の米作り体験、とても素敵な取
組ですね。毎日食べているお米のルーツを知
る事で、ご飯を残さず食べる！という意識に
変わったのかなと思いました（まだ小さい
ので現実的には難しいですが…）

収穫が楽しみです！その際はまたよろしくお
願ひします。

かなでの母より

田植え楽しかった。
秋にお米を収穫するときも、お米がどうな
ってるの楽しみにしているよ

小1 かなでより





えにわハッピーハロウィン

地域が一体となってこころのつながりを育み、恵庭の魅力を発信するイベント「えにわハッピーハロウィン」

＊主催：えにわハッピーハロウィン実行委員会

2015年には、ハロウィンかぼちゃを一行に並べるギネス記録を達成しました。

島田農園では使用するハロウィンかぼちゃを生産し、子供たちを中心とし苗植え体験や収穫体験を行っています。

えにわハッピーハロウィンとは

かぼちゃが特産品である北海道恵庭市のイベントとして、2015年より地域が一体となって、こころのつながりを育み、恵庭の魅力を発信する機会として毎年開催しています。



北海道文教大学と包括連携協定

北海道文教大学と株式会社島田農園は、相互の資源を活用し、お米などをベースにした商品開発や農業体験を通じた人材育成など、SDGsや健康の観点に配慮しながら、相互の協力が可能な分野において具体的に協力を推進し、地域の食文化の発展や活力ある個性豊かな地域社会の形成に寄与することを目的として、令和6年2月16日に包括連携協定を締結いたしました。



当日の様子→



食育アイドルプロジェクトは食育の推進を行う北海道文教大学が運営するアイドルチーム。

「えにわっ娘」は老若男女等しく役立つ情報を織り込んだ食育講和がメイン。一方「イザリス」は、偏った知識や間違った食生活に警鐘を鳴らす『攻めた』食育講和がメインとなっており、楽曲のジャンルも両チームではしっかりと棲み分けがされているのも特色の一つです。

今回は、地域の皆さんや学生、一般の方々に対して、食の大切さや食育の重要性を分かりやすく伝えたいという思いから、北海道恵庭市島田農園様のご指導のもと、楽しく田植えから稲刈りまでの素敵な体験をさせていただき、島田農園と北海道文教大学食育アイドルプロジェクト「えにわっ娘。」の特別なコラボ米が完成しました！



コラボ米
記念ライブ
→



illust/調乃

株式会社 島田農園

